

令和5年9月

## 2023 安全報告書 (令和4年度分)



上飯田連絡線株式会社

### はじめに

上飯田連絡線（名鉄小牧線味鋤駅～名古屋市営地下鉄上飯田線平安通駅）は、おかげさまで、今年3月に開業20周年を迎えました。まずもって、ここに、利用者や地域の皆様方に対しまして厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、上飯田連絡線の鉄道資産を保有する第三種鉄道事業者として、「安全管理規程」を定め、営業運転等を担う第二種鉄道事業者（名古屋鉄道株式会社及び名古屋市交通局）とも連携して、その輸送の安全確保に努めており、この報告書は、当社における輸送の安全を確保するための基本的な方針と、令和4年度に講じた措置について、鉄道事業法に基づき「安全報告書」として公表するものです。

皆様方におかれましては、この報告書により、当社の取組みをご理解いただくとともに、今後の取組みを一層充実させるため、ご意見、ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

上飯田連絡線株式会社

代表取締役社長 茶 谷 泰 樹

### 1 安全管理規程

第二種鉄道事業者と連携し、第三種鉄道事業者として輸送の安全を確保するため遵守すべき事業の運営の方針、事業の実施及び管理の体制・方法を定めることにより安全管理体制を確立し、輸送の安全の水準の維持・向上を図ることを目的として「安全管理規程」を定めています。

## 2 基本的な方針

### (1) 安全基本方針

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めます。

この安全基本方針の趣旨を踏まえ、3項目に要約した安全方針を制定し、携行することにより、社員が常に安全最優先の意識を徹底するよう促し、安全確保の取組を推進しています。

### 安全方針

- 1 安全最優先に努めます。
- 1 法令・規程を遵守し、職務を遂行します。
- 1 問題意識を持ち、改革に取り組みます。

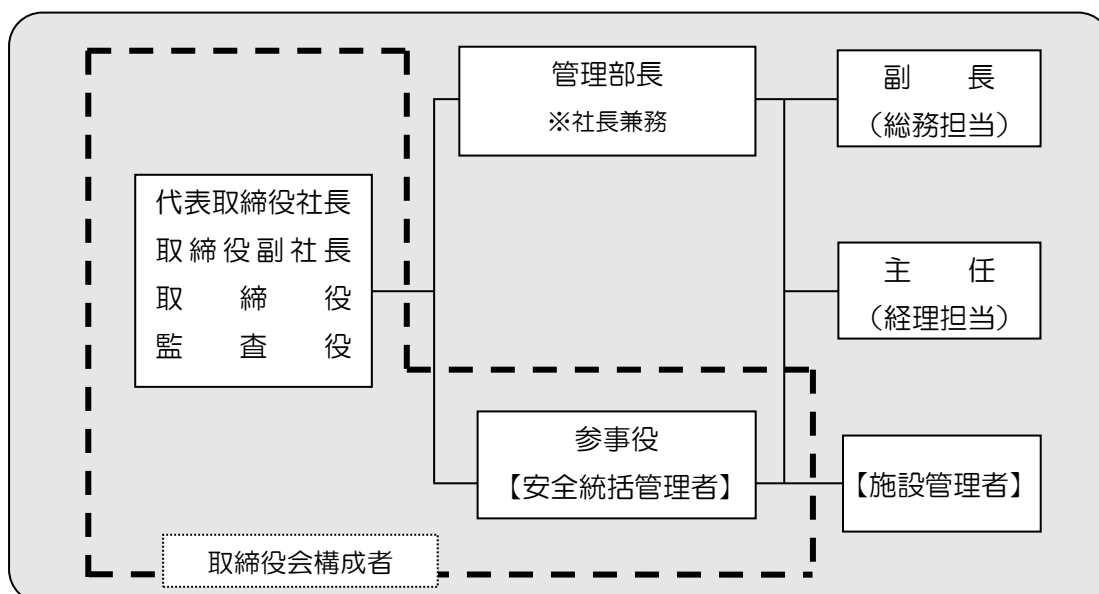
上飯田連絡線株式会社代表取締役社長  
茶谷 泰樹

### (2) 安全重点施策

上飯田連絡線内における事故・輸送障害が発生しないことを目標とし、達成するため社員等の教育・訓練及び鉄道施設の改良等に第二種鉄道事業者と連携して取り組んでまいります。

## 3 安全管理体制と方法

### (1) 安全管理体制



## ○各責任者の責務

社 長	-----	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	-----	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管 理 部 長	-----	輸送の安全の確保に必要な投資、予算及び要員等に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	-----	鉄道施設に関する事項を統括する。

※安全統括管理者及び役員・従業員は、適宜に現場に赴き、輸送に係る業務の実施及び管理の状況を確認しております。

## (2) 安全管理方法

事故・災害等に備え、速やかに関係機関との連絡・連携ができるよう、連絡体制図を当社事務室に掲示するとともに、第二種鉄道事業者との協定により、施設の保守管理及び事故・災害等の情報について随時報告を受けており、連携して対応しております。

## 4 安全確保等のための措置

安全管理体制の適切で円滑な運営及び安全に関する取り組みの継続的な改善のため、役員を含めた研修の実施や連絡会議の開催、中部運輸局及び第二種鉄道事業者等関係機関からの情報の社内周知、第二種鉄道事業者との合同会議や訓練等への参加等コミュニケーションを確保し、情報の共有及び問題解決に取り組んでいます。

## (1) 社内の取組み

### ① 運輸安全マネジメント研修（令和4年7月14日、9月12日及び22日）

役員の就任及び社員の異動に伴い、鉄道事業者として求められる運輸安全マネジメントについて、これまでの取り組み等を説明するとともに味鏡・平安通間の上飯田連絡線の施設等の現地確認を実施しました。



① 運輸安全マネジメント研修（左：取り組み等説明、右：施設等現地確認）

② 輸送の安全に関する内部監査（令和4年1月28日）

経営管理部門を対象に内部監査を実施しました。結果は、以下のとおりです。

【指摘、指導事項】 なし

【優良事項】 なし



②輸送の安全に関する内部監査

③ マネジメントレビュー会議（令和4年12月26日）

安全統括管理者が、当社の安全管理体制の構築・改善状況を社長に報告し、社長より「新型コロナウイルス感染症の長期化による影響は続いているが、一方で頻発化・激甚化する自然災害への対策について、引き続き第二種鉄道事業者と連携して、良好な安全管理体制を堅持すること。」との講評がありました。



③マネジメントレビュー会議

(2) 第二種鉄道事業者との連携

① 施設担当者会議（令和4年4月22日）

第二種鉄道事業者の施設担当部署との合同会議を開催し、上飯田連絡線の施設改良及び保守に係る新年度計画及び前年度実績の報告及び意見交換を実施しました。



① 施設担当者会議

② 事故復旧総合訓練（令和4年10月25日）

第二種鉄道事業者である名古屋市交通局が実施した事故復旧総合訓練に参加しました。震度6強クラスの地震発生により車両が脱線したとの想定で、情報伝達訓練、乗客避難訓練、脱線復旧訓練、被災施設点検・復旧訓練等を実施しました。

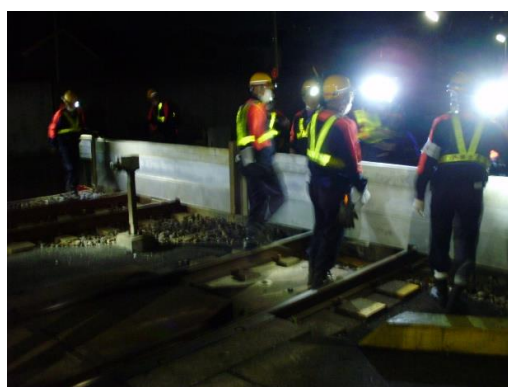
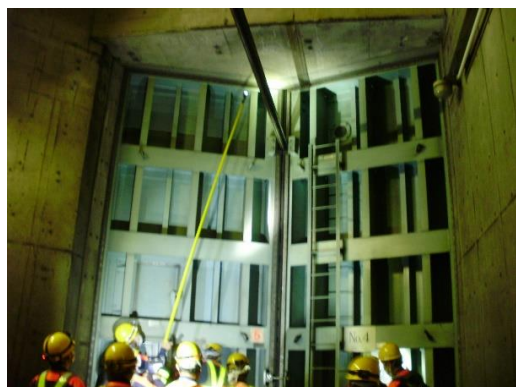


②事故復旧総合訓練



③ 制水扉等操作訓練（令和4年11月2日）

第二種鉄道事業者である名古屋鉄道株式会社が実施した上飯田連絡線制水扉等操作訓練に参加しました。味鉢・上飯田間に設置してある制水扉の操作訓練と止水壁の設置訓練を実施しました。



③制水扉等操作訓練（左：制水扉、右：止水壁）

④ 運輸安全マネジメント担当者会議（令和4年11月14日）

第二種鉄道事業者の安全監理担当部署との合同会議を開催し、上飯田連絡線に係る安全報告書に関する報告及び各事業者の運輸安全マネジメントに関する取り組み等に関する意見交換を実施しました。



④運輸安全マネジメント担当者会議

⑤ 不審者対応訓練（令和4年12月21日）

第二種鉄道事業者である名古屋鉄道株式会社と名古屋市交通局が合同で平安通駅において実施した不審者対応訓練に参加しました。



⑤不審者対応訓練

⑥ 名古屋市交通局大幸車庫見学（令和5年2月16日）

第二種鉄道事業者である名古屋市交通局の大幸車庫における車両整備及び車両留置等に係る安全確保に関する取り組みに関し説明を受け施設を見学しました。



⑥大幸車庫見学

(3) 安全のための設備充実

第二種鉄道事業者である名古屋市交通局の計画により、平安通駅の照明をLED化しました。



平安通駅照明のLED化

5 事故の状況等

当年度中において該当事項はありません。

6 行政指導等

当年度中において該当事項はありません。

連絡先：電話 052-746-9777・FAX 052-746-9778、電子メール kami-iida@iris.ocn.ne.jp



■上飯田連絡線のシンボルマークコンセプト

尾張北部地域のイメージカラーとした“緑”と名古屋都心のイメージカラーとした“青”を2つの円で表し、また、これを結ぶ2本の線は、名鉄と地下鉄の相互直通運転による地域の発展への貢献と上飯田連絡線をご利用されるお客様へのサービス向上を表しています。